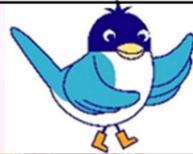


奥沢地区の催し物ご案内

| 日時 | 内容 | 時間・場所等 |
|------------------|----------------|----------------|
| 9月11日(土)・12日(日) | 奥澤神社例大祭 神輿渡御中止 | 奥沢地区一帯 |
| 10月16日(土)・17日(日) | 奥沢区民センター文化祭 | 奥沢区民センター |
| 12月5日(日) | 中古衣料・古布回収 | 9時~正午 奥沢小学校西門前 |

※8月20日現在の情報で作成しています。詳細はお問い合わせください。



【あんしんすこやかセンターです】

新型コロナウイルスの感染が続いている状況で、外出機会が減ってしまったり、今まで交流していた方との連絡も途絶えてしまっていることもあるかと思えます。

生活様式を守り、再度感染対策を見直し、徹底していきましょう。

- ・会話をする際は2m程度離れて
- ・マスクの着用、はずす際は人のいないところで
- ・水と石鹸で手を洗いましょう。
- ・アルコールで手指消毒

また家族や友人たちと電話やメール等を積極的に使って交流しましょう。

あんしんすこやかセンターで実施している様々な活動はコロナ禍でも継続しているものもあります。「外出機会が減ってしまった」、「生活で困ったことがある」等ございましたらご連絡ください。8月より職員を増員し、運営してまいります。今後ともよろしくお願いたします。



前列左から、田中、岡留(新入職)、角川
後列左から、渡部、小山、篠崎、松下、高橋



まちづくりセンター職員

織田、柳澤(新規採用)、加藤
本田所長、吉津係長

顔を覚えて
相談や問い合わせを
気軽に

←職員紹介の写真↑→は
撮影時に限りマスク非着用
といたしました。ご了承ください。



社会福祉協議会職員

左から
玉川地域社協事務所 牧野所長
奥沢地区担当 野木・平光

オリンピックの聖火ランナーを務めました

奥沢1丁目在住 出井昭一さん



東京2020オリンピック
聖火リレー

東京2020オリンピック・パラリンピックでは、多くの日本人アスリートも表彰台に上がりメダルを獲得しました。そこで誇らしげにかざしたメダル、さてどちらが表?悩んだメダリスト達が多かったようです。昔から世の中の物事は表裏一体、すべて陰と陽から成り立っていると言われています。緊急事態宣言のなかで行われたオリパラ開催にも、賛否両論がありました。参加した選手を始め、ボランティアなど大会関係者は、複雑な思いで今回の大会を終えたのではないのでしょうか。私自身は、聖火ランナーとして今回関わらせてもらいました。公道を走ることができず、残念な気持ちもありましたが、自身の人生で輝いたひと時を味わうことができました。

さて、冒頭のメダルの表裏ですが、表はIOCで定めている女神像。裏は開催国が毎回デザインするそうです。ですから、開催国としては、裏面が表かな。

2021年9月15日発行

第43号



発行：奥沢地区社会福祉協議会 東京都世田谷区奥沢3-15-7 奥沢まちづくりセンター内
Tel.070-3946-9796 e-mail: okscocoron@yahoo.co.jp

社会福祉協議会(社協)の会費募集のお願い

例年7月・8月を募集強化期間として、地域の皆様にご理解とご協力をいただいておりますが、昨年に続いて新型コロナウイルス感染防止等を踏まえる必要が生じている状況にあることから、今年度の会費募集につきましても、通年で募集を行なっています。お互いに支えあう仕組みとして、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

＜会費の使われ方＞

皆様にご協力いただいた会費

| | | | |
|-----|------------------|-----|------------------------|
| 50% | 奥沢地区社協の活動に活用されます | 50% | 世田谷区社協が行う全区的な事業に活用されます |
|-----|------------------|-----|------------------------|

会費額(年額)
 一般会員: 300円以上
 特別会員: 5,000円以上
 法人会員: 5,000円以上
 ※法人からご協力いただく会費は、法人税法上の「損金算入」の対象になります。

・福祉学習
 ・ココロン椅子設置
 ・インボティ測定 など

・地域支えあい活動支援
 ・ふれあいサービス
 ・ファミリーサポート など

◎ご協力いただける方はお近くの地域福祉推進員、または下記口座へお振込いただければ幸いです。

口座名義
 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会
 郵便振替口座
 00140-5-544151

ご挨拶

五月から高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種が始まりましたが、すべての人に行き渡るには未だ未だ時がかかるようです。変異ウイルスの感染拡大も気になります。当面は自分や家族の身を守りながらの生活が続きます。

さて、奥沢地区社会福祉協議会も長らくコロナ禍の中、昨年から事業の自粛を余儀なくされる状況が続いています。残念ながら本年度の総会も四月に書面方式で承認をいただき、少しずつ活動を開始しております。

巷では生活困窮者、高齢者の生活力低下、子育て等で支援が必要なる方も増えていきます。社会福祉協議会が携わっているコロナ対応の「特別貸付」も増加の一途を辿っています。こんな時こそ、地域福祉推進員として、私達は知恵を出し合い、何が出来るか、を考え活動をしていきたいと思っております。

昨年度から始めました「食で応援プロジェクト」はその中の出来ることの一つです。町会・ゴミ減量リサイクル推進委員会・そして地域の皆様の暖かいご支援が「共同」でする町の福祉として大きな輪になっていきます。ご協力に心より感謝いたします。

今年新しく子育て支援事業を加え、この地域に何が必要か検討しながら進めてまいります。そして、町の皆様の困り事が少しでも減りますように支え合いの輪を広げてまいります。

引き続き、地域の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

奥沢地区社会福祉協議会 会長 小林 喜美江

ご意見・メッセージをお寄せください

「おくさわココロン」に取り上げたいテーマ、記事などを募集しています。また、「with コロナ」について思うこと、「子育て」について、私は「おくさわココロン」をこうやって使っているなど、提出・送付は本紙のタイトル下にある事務局住所・TEL・メールアドレス(右はアドレスのQRコードです)宛にお寄せください。いただいたメッセージは、紙面向上にのみ使用いたします。

